

2023 年本社移転動向調査（千葉県）

千葉県からの転出は 125 社、転入は 152 社 ～「転入超過」だが、超過社数は減少傾向～

はじめに

コロナ禍を機にリモートワークやウェブ会議システムが普及し、東京に本社を置く必要性が薄れつつあるなか、本社オフィスの「存在意義」も改めて問われている。従来に比べて、東京からの距離に縛られない移転も増える傾向にあり、この動きがアフターコロナ下における一般的なものとして定着するのか注目される。

帝国データバンク千葉支店では、2023 年までの本社所在地の「千葉県からの転出が判明した企業」や「千葉県への転入が判明した企業」を、自社データベース・企業概要ファイル「COSMOS2」から抽出。転出企業の移転先、転入企業の移転元、業種別、売上高規模別に集計し、分析を行った。

なお、本社とは本社機能（事務所など）の所在する事業所を指し、商業登記上の本店所在地と異なるケースがある。

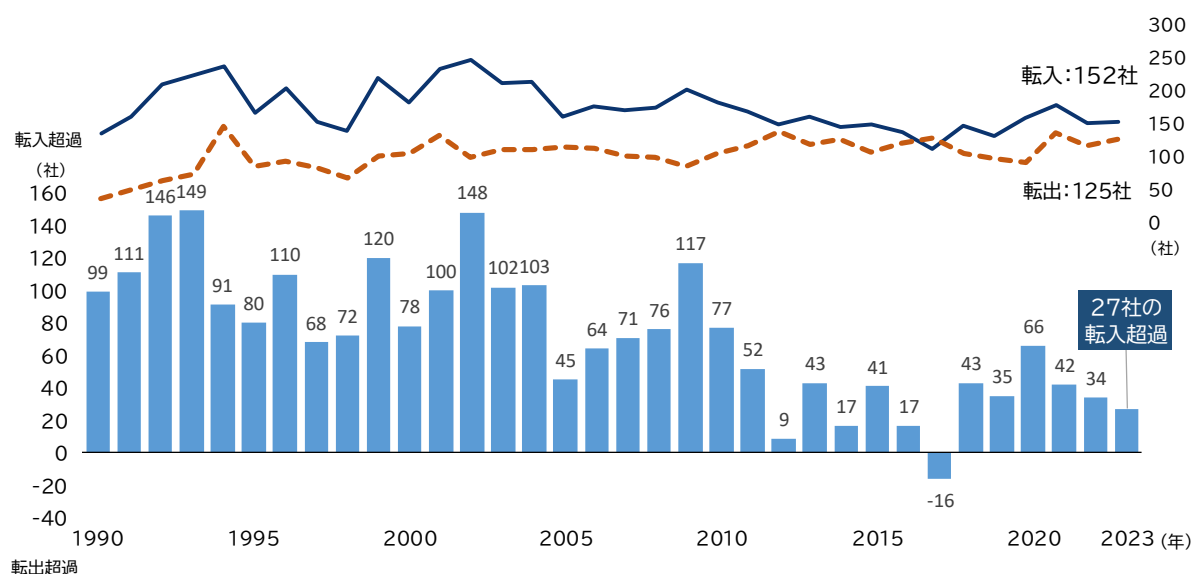
調査結果（要旨）

1. 2023 年に千葉県から転出した企業は 125 社判明、前年（116 社）を 9 社上回った（7.8% 増）。一方、千葉県へ転入した企業は 152 社判明、前年（150 社）を 2 社上回った（1.3% 増）。転入が転出を 27 社上回り、「転入超過」となったが、超過社数は前年の 34 社からは 7 社減少
2. 転出先・転入元とも「東京都」が多数を占める
3. 業種別でみると、「サービス業」が転出・転入とも最多となった。転入超過は「運輸・通信業」（13 社）、「サービス業」（8 社）、「卸売業」「製造業」（各 3 社）、「建設業」（2 社）、「その他」（1 社）の 6 業種、転出超過は「不動産業」（2 社）、「小売業」（1 社）の 2 業種
4. 売上高規模別でみると、転出・転入とも「1 億円未満」の規模の小さい企業が多数を占めた。「100 億円以上」では転出が 3 社、転入が 2 社判明した

1. 2023 年の本社移転動向

2023 年に千葉県から転出した企業は 125 社判明、前年 (116 社) を 9 社上回った (7.8%増)。一方、千葉県へ転入した企業は 152 社判明、前年 (150 社) を 2 社上回った (1.3%増)。これにより、転入が転出を 27 社上回り、6 年連続の「転入超過」となった。ただし、超過社数は前年 (34 社) から 7 社減少 (20.6%減)、新型コロナウイルスの感染拡大が始まった 2020 年 (66 社) をピークに 3 年連続で減少している。

千葉県の企業転出入推移(1990~2023年)



2. 都道府県別の転出先・転入元

千葉県からの転出先で最も多いのは、「東京都」の 84 社 (構成比 67.2%) だった。次いで「茨城県」が 13 社 (同 10.4%)、「神奈川県」が 9 社 (同 7.2%)、「埼玉県」が 4 社 (同 3.2%) などと続いた。「東京都」への転出は前年比 7 社増加、「茨城県」は同 6 社増加した一方、「埼玉県」への転出は同 4 社減少した。

千葉県 転出入先 都道府県(上位)

千葉県 から転出				千葉県 へ転入			
	2022年	2023年	前年比		2022年	2023年	前年比
1 東京都	77	84	+7	1 東京都	109	113	+4
2 茨城県	7	13	+6	2 埼玉県	10	12	+2
3 神奈川県	7	9	+2	3 神奈川県	13	7	-6
4 埼玉県	8	4	-4	4 茨城県	7	5	-2
5 大阪府	3	2	-1	5 新潟県	0	2	+2
5 愛知県	3	2	-1	5 北海道	2	2	±0

[注] それぞれ単位は社

千葉県への転入元では、「東京都」の 113 社 (構成比 74.3%) が最多で、次いで「埼玉県」の 12 社 (同 7.9%)、「神奈川県」の 7 社 (同 4.6%)、「茨城県」の 5 社 (同 3.3%) などと続いた。「東京都」からの転入は前年比 4 社増加した

一方で、「神奈川県」からの転入は同 6 社減少した。

転出先・転入元いずれも「東京都」が圧倒的に多く、近隣の「埼玉県」「神奈川県」「茨城県」が続いた。

3. 業種別の動向

千葉県からの転出企業を業種別でみると、最も多いのは「サービス業」で 46 社（構成比 36.8%）となり、次いで「建設業」が 22 社（同 17.6%）、「卸売業」が 19 社（同 15.2%）、「小売業」が 14 社（同 11.2%）、「不動産業」が 12 社（同 9.6%）など続いた。

転入企業でも、最も多いのは「サービス業」で 54 社（構成比 35.5%）だった。次いで「建設業」が 24 社（同 15.8%）、「卸売業」が 22 社（同 14.5%）、「運輸・通信業」が 15 社（同 9.9%）、「小売業」が 13 社（同 8.6%）などと続いた。

前年と比べて、転出が多かったのは「建設業」（前年比 9 社増）、「小売業」（同 6 社増）などで、転入が多かったのは「運輸・通信業」（同 8 社増）など。

また、転入超過は「運輸・通信業」（13 社）、「サービス業」（8 社）、「卸売業」「製造業」（各 3 社）、「建設業」（2 社）、「その他」（1 社）の 6 業種、転出超過は「不動産業」（2 社）、「小売業」（1 社）の 2 業種となった。

千葉県 転出入企業 業種別

		千葉県 から転出					千葉県 へ転入		
		2022年	2023年	前年比			2022年	2023年	前年比
1	サービス業	43	46	+3	1	サービス業	58	54	-4
2	建設業	13	22	+9	2	建設業	22	24	+2
3	卸売業	15	19	+4	3	卸売業	25	22	-3
4	小売業	8	14	+6	4	運輸・通信業	7	15	+8
5	不動産業	12	12	±0	5	小売業	13	13	±0
6	製造業	13	9	-4	6	製造業	16	12	-4
7	運輸・通信業	8	2	-6	7	不動産業	6	10	+4
8	その他	4	1	-3	8	その他	3	2	-1

[注] それぞれ単位は社

4. 売上高規模別の動向

千葉県からの転出企業を売上高規模別でみると、「1 億円未満」が 57 社で構成比 45.6%を占め、次いで「1 億～10 億円未満」が 51 社（構成比 40.8%）、「10 億～100 億円未満」が 14 社（同 11.2%）、「100 億円以上」が 3 社（同 2.4%）と続いた。

千葉県 転出入企業 売上高規模別

		千葉県から転出					千葉県へ転入		
		2022年	2023年	前年比			2022年	2023年	前年比
1	1億円未満	40	57	+17	1	1億円未満	88	85	-3
2	1億～10億円未満	62	51	-11	2	1億～10億円未満	50	56	+6
3	10億～100億円未満	13	14	+1	3	10億～100億円未満	11	9	-2
4	100億円以上	0	3	+3	4	100億円以上	1	2	+1

[注] それぞれ単位は社、売上高「1億円未満」には未詳分を含む

転入企業では、「1 億円未

満」が 85 社（構成比 55.9%）で過半数を占め、「1 億～10 億円未満」が 56 社（同 36.8%）、「10 億～100 億円未満」が 9 社（同 5.9%）、「100 億円以上」は 2 社（同 1.3%）と続いた。

まとめ

総務省が 1 月に発表した 2023 年の住民基本台帳人口移動報告によると、千葉県の人口は転入が転出を上回る「転入超過」だが、転入者の減少と転出者の増加により、超過人数は前年の 8568 人から 4785 人へと減少した。

県内企業においても本社の「転入超過」が続いているが、超過社数は 2020 年（66 社）をピークに 3 年連続で減少し、2023 年は 27 社となった。コロナ禍でのリモートワークなどの普及・定着もみられるなか、小規模企業を中心に東京への転出、東京からの転入を主体に、本社の移転が行われる見通しである。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 千葉支店 担当:竹内
TEL 043-221-0404 FAX 043-227-5205

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。